

36号

# 生駒市自治連合会だより

発行日 平成24年3月1日

発行 生駒市自治連合会

編集

自治連合会だより編集委員会

地域力の向上に向けて

ミックスペーパーごみを再資源化しましょう

## 平成二十三年度 第二回生駒市自治連合会全体集會を開催

平成二十三年度生駒市自治連合会第二回全体集會を一月二十五日、市コミュニティセンター文化ホールで開催しました。

自治連合会では、「地域力の向上に向けて」を大きなテーマとして活動しています。具体的には、「ごみの減量化」を目標に、それぞれの自治会が取り組みました。

今回の全体集會では、それらの活動の報告を行いました。最初に、「地域力ステッパップ事業補助金制度」に採択された「カラスと戦う住民」と題し



青山台自治会の手づくりカラス対策ごみボックス

その後、市環境事業課、市民自治部会、防災部会からの報告がありました。多数の自治会の参加をいただき、各自治会間の情報交換、情報共有の機会となりました。



有里町自治会のミックスペーパーの回収

また、高さを低くしたことで回収業者が取り出しやすくなった。現在のところ、カラスの防御は完璧にできる。しかし、まだまだ改良の余地があり、試行錯誤しながら次回製品を作っていきたい。」と報告されました。

次に、有里町自治会から「ミックスペーパーごみ別の取組活動」について報告を行いました。報告では、「昨年八月から、廃品回収に加えて、ミックスペーパーの回収に取り組み始めた。分別の種類が増えることはたいへんだが、回収物が何らかの資源となり、ごみの減量化にもつながっている。回収量は、毎月増えてきていて、今ではミックスペーパーを集めることが楽しくなってきました。」と報告されました。

青山台自治会が、報告を行いました。

報告では、「カラスによる生ごみ被害に悩まされ、自分たちの手でカラスネットを作成できないかと検討した結果、市販のカラスネットより安く、耐久性に優れているものが製作できた。

**環境対策型オフィス**

太陽光発電 (風力外灯) 壁面緑化 雨水利用

★食品リサイクル  
生駒市内の事業所から排出される食品残さを収集し、市運営リサイクル施設に運搬しています。

★一般家庭ゴミ収集 ★粗大ごみ収集  
★事業系ごみ収集 ★産業廃棄物収集

IKOMA EISEISHA (株)生駒市衛生社

生駒市北田原町1548-1  
受付時間 AM9:00~PM4:00 TEL0743-79-9031

課外授業 クリーンキャンペーン  
生駒市内12小学校の4年生を対象に実施しています。  
竜田川清掃、小さな親切運動で排出された廃棄物の収集運搬を行っています。

一般廃棄物収集運搬地域 生駒市  
産業廃棄物収集運搬地域 奈良県・三重県・京都府 金剛くまの古物商

仕出し・持ち帰り・食事

**忠兵衛**

フリーダイヤル **0800-123-1233**

生駒市本町 5-18 生駒駅南びっくり通り  
TEL0743-73-7688 FAX0743-73-7689  
営業時間 / AM11:00 ~ PM10:00

# 菊川市の「コミュニティ協議会」を視察して

真弓一丁目自治会会長 金子 秀樹

北地区自治連合会は、平成二十三年十一月十四日に静岡県菊川市を訪れ、同市の自治組織について研修を行いました。

菊川市は、県の中西部に位置し、南は御前崎、浜岡、東は日本一の大茶園である牧の原台地が広がる温暖な地域です。人口は約四万六千人で生駒市の約三分の一。財政規模約二百七十四億で生駒市の約二分の一。人口の割に財政規模の大きな市です。

生駒市と異なる点は、平成十七年に二つの町が合併してできた市であることで、その経緯もあり、まちづくりの基本の仕組みとして、合併後直ちに「コミュニティ協議会」の設立を推進されてきました。

「コミュニティ協議会」とは図のような組織で、複数の自治会、PTA、子供会、老人クラブ、ボランティア団体、防犯協会等から委員が出て構成されています。市を十二の工



が、活動拠点となるセンターがまず建設されていることと、事務局員が常駐していることがコミュニティ実現に大きく寄与していることを実感した研修でありました。

は、生駒市が目指す市民自治協議会と本質的には同じですが、活動拠点となるセンターがまず建設されていることと、事務局員が常駐していることがコミュニティ実現に大きく寄与していることを実感した研修でありました。

リア（平均千世帯）に分け、ホールや会議室、料理教室もできる厨房などを備えた中規模のセンターを建設しています。さらに、このセンターに市の嘱託職員として常駐の事務局長を一名派遣し、管理運営、コミュニティのまとめ役、事務全般の推進をしていることが最大の特徴です。センターは、単一自治会が担っていた行事、イベント類を担い、自治会の負担を減らし、自治会が防犯・防災等の固有の課題に集中できるように役割分担しています。方向性は、生駒市が目指す市民自治協議会と本質的には同じですが、活動拠点となるセンターがまず建設されていることと、事務局員が常駐していることがコミュニティ実現に大きく寄与していることを実感した研修でありました。

# 四日市市の「災害時要援護者支援活動」状況について

光陽台自治会会長 光家 清則

平成二十三年十月六日、西地区自治連合会は視察研修として、三重県四日市市を訪れ、「災害時要援護者支援活動」の取り組みについて市から説明を受けるとともに、地元自治連合会の方々との意見交換しました。

## 一、取り組みと現状

平成十六年度から協議を始め、平成十八年度に要綱を制定し、地域活動として取り組み始めた。

平成二十年一月現在、対象者は約三万六千人、うち同意者約一万六千人、そのうち約一万三千人の要援護者台帳を作成している。

## 二、要援護者支援活動

四日市市は六十五歳以上の高齢者のみの世帯について、民生・児童委員に情報を提供し、民生・児童委員が各家庭を訪問（障がい者の方は市から郵送）、支援を必要とする方の登録同意を得ている。

自治会等は、市で作成した登録同意書リストの提供を受け、避難支援者を選定し、要援護者台帳を作成している。

## 三、今後の課題

取り組みが進まない地区があり、支援が必要。また、要援護者は同意しているが支援者が見つからない等の課題も生じている。

生駒市では、昨年からのモデル事業として実施しようとしているが、今後、このような状況が発生することが予想され、それぞれの地区の取り組み姿勢が重要になってくると思われる。



四日市市自治連合会の方々と意見交換

キップ一枚から国内旅行・海外旅行・海外格安航空券

**いこまつーリスト**

※お電話1本で予約、手配、発券ができます。※他社パッケージ旅行の予約ができます。※団体旅行、グループ旅行、個人旅行も迅速にお見積り致します。※各種保険も取扱っています。

【営業時間】  
●月～土曜日 AM9:30～PM6:00  
●定休日 日曜日、祝・祭日

☎(0743) **73-3636**

生駒市小明町541-3

〒630-0266 奈良県生駒市門前町 1-1

生駒聖天 本山山 大生駒

**寶山寺**

大和十三佛霊場第一番  
近畿三十六不動尊霊場第二十九番

T E L . (0743) 73-2006  
F A X . (0743) 74-0070

# 東北被災地(陸前高田市、一関市)訪問

西旭ヶ丘自治会会長 西森 義光

今年度の県外研修は、東北被災地を訪れました。訪問するにあたり、昨年九月二日、中地区自治連合会として生駒駅前で義援募金を訴え、みなさんの暖かいご支援を頂きました。「被災地から避難してきました」という親子連れの子どもさんからも募金をいただき、「私達も頑張ります」との出会いもありました。

九月十六日、仙台空港到着後、陸前高田市に向かいました。市役所に到着、仮設事務所でした。多忙な中、戸羽市長の出迎えを受け、会議室で市長自らの説明を受けました。「復興に向け歩みだすも、二百六十名の職員のうち二十五%の職員を亡くしました。しかも多くの管理職、中堅職員を。しかし留まることはできません。名古屋から三十三名の応援を受け、復興に向けて全員で頑張っています。」とのお話でした。

翌十七日、一関市消防本部で研修しました。本部建物が被災で危険との事で、市役所会議室に変更になりました。

地震による被害はあったが津波による被害はなく、沿岸被災地の後方支援基地として活動されました。災害発生時には自助・共助・公助の大切さを強調され、地震発生時には、被災地の消防署員が水門の状況確認に行き、波にのまれた悲しい話もありました。

帰路に名取市(閑上地区)へ寄り、神社跡(高さ5m)に登り周囲を見渡しました。見えるのは、雑草の中にある建物の基礎、瓦礫の山、三階建ての無人の建物、そして遠くに瓦礫の山から白煙が立ち上っている様子でした。帰路仙台空港には、津波到達高さ三・〇二mの表示、下には「がんばろうニッポン」の寄せ書きが印象的でした。



戸羽陸前高田市長と意見交換

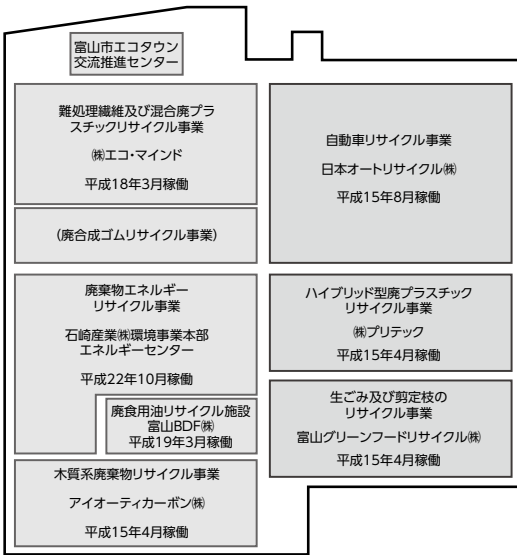
# 富山市エコタウンを視察して

中葉畑二丁目自治会会長 藤澤 清二

平成二十三年十一月十一日から二日間、富山市を訪れ、エコタウン産業団地内の推進交流センターにて各施設と事業内容の説明を受けた。施設の事業分野では、廃プラスチック、木質系廃棄物リサイクル、生ゴミ及び剪定枝のリサイクル、自動車リサイクル施設、難処理繊維及び混合廃プラスチックリサイクル施設、廃食用油リサイクル、廃棄物エネルギーセンター七施設で各地域内循環を優先した「資源循環施設の拠点整備」を図り、人と環境にやさしい都市富山市を目指している(富山市の人口は四十二万人)。

すめて、ゼロ・エミッション構想を進めている。「家庭ごみ、廃棄物削減、環境リサイクル、産業廃棄物等」、富山市では、市民のリサイクル意識を高めて、地域ぐるみの減量化、再生品の利用、ごみ減量、資源ごみの再利用を進めている。生駒市も平成二十三年十月一日より分別収集に移行されている。今回の研修会での内容を地域活動に活かしながら、ごみを減らし、環境にやさしいまち、地域にできる事を啓発していきたい。

## エコタウン全体図



環境情報  
の公開、行政、市民、事業者が一体となつて「循環型のまちづくり」を押し出す

文具・事務用品  
事務機・スチール製品

**文具の  
いなもり**

〒630-0257  
奈良県生駒市元町1丁目3-19  
TEL 0743-75-2808

印鑑・名刺特急仕上げ!!

印鑑・ゴム印・名刺  
軽印刷の専門店

**はんこ屋さん**

株式会社 **いなもり**

奈良県生駒市元町1-3-19  
電話 0743-71-6600

和洋酒・醤油・調味料・米・贈答用品  
LPガス・ガス器具・石油

**西本酒店**

生駒市南生駒駅前

TEL. (77) 8022  
FAX. (77) 6448

# 関西電力美浜発電所(美浜原子力P R センター)を視察して

イトーピア生駒ファインコート自治会会長 今井 信江

十月二十二日、あいにくの天候ではありましたが、関西電力美浜発電所(美浜原子力P R センター)と科学館アクアトムを視察しました。

東日本大震災後、原子力発電の是非が問われる中、知らされていない怖さ、知らない怖さを知り、難しい問題ではありますが一人ひとりが正しい知識を持つことから始めなくてはなりません。

どこまでやれば万全と言えるのか誰にも明確な答えは出せないでしょう。だからこそ、対策が必要となります。美浜発電所は、三基の加圧水型軽水炉を持ち、総出力は百六十六万六千キロワットで、年間発電量は滋賀県の年間消費量に相当します。

事故対策については、安全性向上、設備機能維持に向け、迅速かつ明確な自助努力をされているように感じました。

アクアトムは、日本電子力研究開発機構が運営する参加体験型科学館で、ここでの見所はアクアトムボール



熱心に説明を受ける自治会長 (アクアトムにて)

ワー、高さ十二mのシンボルトワーのなかをボールが落下することで運動エネルギーを起こし、色々な物を動かす動作を表現したものでした。

当日も多くの小学生が来館し、身近で科学に接する場として興味をもって利用されていました。

展望台から見た美浜町は、子どもの頃、父に連れられて来た時と同じ美しい海と自然を今も変わらずたたえた力強いまちでした。この美しい海と自然が永遠に続くことを望まずにはられません。

# 自治会長市政研修会を開催

昨年九月から十一月にかけて、地区ごとに自治会長市政研修会を開催しました。この研修会は、地域の代表である自治会長・自治会役員が、市政への理解を深め、より市民参加の推進を図るために開催されるものです。

研修会では、午前中市の事業・施策(景観計画、ごみ半減プラン)について担当者から説明があり、午後は、市の公共施設(山崎浄水場、清掃センター、衛生処理場、高山竹林園等)を見学しました。

## 生駒市景観計画

緑豊かな住宅都市にふさわしい質の高い景観形成に向けて、昨年四月、生駒市景観計画が策定され、これを運用するための生駒市景観条例が十一月一日に施行されました。

市内全域を、「自然景観区域」「田園景観区域」「市街地景観区域」の三つに分けるとともに、住民どうしが協力し合い、良好な景観づくりに取り組む地区を「景観形成地区」として指定しました。

今後とも同地区の指定拡大をはじめ、地域の景観を特徴付けている建造物や樹木を「景

観重要建造物」、「景観重要樹木」として指定するなど、基本目標である「自然と都市が調和した景観まちづくり」の取組が進められます。

## ごみ半減プラン

生駒市では、平成三十二年までの十年間で、市の焼却ごみを半減することを目指しています。また、このプランを実現するために七つの施策を掲げています。

- ①もったいない運動でごみの発生抑制
  - ②プラスチック製容器包装の分別収集を実施
  - ③古紙回収活動の活性化
  - ④家庭系ごみへの有料制導入を検討
  - ⑤生ごみ・剪定枝の資源化を促進
  - ⑥事業系ごみ有料指定袋制を導入
  - ⑦事業系ごみの減量・資源化促進の取り組み強化
- そして、この施策の一つであるプラスチック製容器包装の分別収集が十月から始まりました。回収の対象になるものは、プラマークがついています。分別収集の協力をお願いします。分別収集の協力のお願いがありました。

心を感じる おいしさ 見えるやす

**高山製菓株式会社**

〒630-0101 生駒市高山町6785 ☎0120-6666-11 FAX0570-068-068

★ネット販売もご利用ください

**まちのイベントをサポートします!**

- 自治会イベントのレンタル
- 夏祭り
- 各種レンタル(テント・テーブル・イス)
- 餅つきセット etc
- 展示会設営・撤去

あすか野自治会 南田原町自治会 さつき台自治会  
 白庭台自治会 東生駒自治会 生駒グリーンマンション  
 真弓南自治会 ひかりが丘自治会 依町自治会  
 北大和自治会 月見ヶ丘自治会 (順不同・敬称略)  
 生駒台自治会 松美台自治会

株式会社 **エヌ・アイ・プランニング**  
 TEL. 0743-73-8877  
 〒630-0201 奈良県生駒市小町446-1

☆ご相談・御見積り無料(日曜・祝日も可) 担当/森口・荒木まで

市長と自治会長が直接話し合い

# 地区別懇談会を開催

各地区の主な内容は、次のとおりです。

## 北地区（六月二十六日開催）

北地区の道路の現状及び今後の具体的計画は？

**A** 清滝生駒道路（国道一六三号バイパス）については、北田原大橋から高山大橋の区間（第一工区）は、地権者との基本的な話し合いはまとまり、今後、地元での話し合いや説明会が予定されています。

高山大橋の交差点から東の区間（第二工区）は、第一工区が完了した後、平成二十八年以降の事業化を見込んでいます。

高山交差点の渋滞対策については、交差点改良を先行して行い、詳細設計ができた後、工事に着手される予定です。

県道枚方大和郡山線の整備については、上村大橋から北は、富雄川の護岸改修を先行して行い、護岸改修終了後、道路を整備していくという手順で進められています。

供用開始時期は、高山交差点の改良にあわせて、平成二十七年頃を目途に、事業が進められています。

供はいつ頃になるか。

**A** 平成二十二年九月に、要援護者避難支援プラン全体計画を策定しました。

今年度は、自分で避難できない方、家族の助けも得られない方について、個別に避難していただくプランの作成に取りかかっています。

具体的には、いくつかの自治会でモデル地区となつていただき、モデル地区では、一人暮らし高齢者、要介護3以上の方等に調査票を送ります。受け取られた方は、自分ひとりで避難できるかを判断し、必要事項を記入の上、調査票を提出していただきます。

自分ひとりで避難できないと回答された方は、災害時要援護者台帳に登録され、支援関係者（自治会、自主防災会、民生委員等）へ、登録された情報を提供します。

来年度五月頃には、モデル地区以外の協力いただける自治会にも同様の調査をし、秋頃には、情報提供ができる見込みです。

**Q** 老人憩いの家からテニスコート間の道路舗装、宝山寺参道の改修工事について今後の予定は？

老人憩いの家からテニスコート間の道路舗装については、今年度で予算化していますので、十月頃に設計書を作り上げ、十一月に発注したいと考えています。

宝山寺参道の改修工事については、仲之町、門前町を合わせて、参道郵便局から宝山寺の手前まで、平成十三年に基本計画を立て、進めようとしていましたが、同十四年に桜の木の伐採について、約千七百名の反対要望書が出され、仲之町地内は、調整がつかず、未着手となっております。

この道路整備は、ライフラインの整備も伴うため、桜の木の伐採なしには行うことはできません。

桜の木伐採も了解の上、仲之町自治会の総意で要望をいただきたいことですので、来年度に、ラインフラインや周辺の調査ができるように予算要求していきたいと思えます。

**東地区（七月二十四日開催）**  
東生駒（市道大谷線）の通り抜けを規制できないか？ 阪奈道路迂回インターの現状は？

**A** 規制については、公道である以上、奈良へ行く車は通るなどとは言えませんし、規制はできません。

迂回インターの設置については、毎年、郡山土木協議会という郡山土木事務所管内の市町村と同事務所職員が集まり、同管内の道路や河川の改

修、新設等について協議する場があり、毎年、生駒市として要望をさせていただいています。平成二十年には、市で案を作つて、奈良県に提示もさせていただいています。

しかし、自治会によつては、賛成と反対の立場がある中で、市として公文書で要望することはしておりません。今後、県で計画として認められ、地元説明の要請があった場合には、調整したいと考えています。

## 南地区（六月十一日開催）

南コミュニティセンターから南の歩道を西側へ拡幅する予定であると聞いているが、早期実現を要望したい。

**A** この歩道は、国道であり、一昨年度から、県に要望しています。

昨年度、測量が終わり、設計図もでき上がっています。勾配のきつところや二十五カ所ほど両側にあるので、今年度は、所有者の方に協力をお願いし、了解をいただけたところから工事を実施するのが県の予定です。

市としては、何とか早くしてほしい、ここはこうしてほしいという要望はさせていただいています。バイパスについても、市道、水路と交差し、完成したときに交通がスムーズに流れるような形で考えてほしいと申し入れをしています。

セレモニーホール

セレミューズ 秋 篠 (有) 公友社 奈良営業所 奈良市秋篠町1180-43(押熊交差点南へすぐ) ☎ 0742-47-4444

セレミューズ 瑞 光 (有) 公友社 生駒営業所 生駒市桜ヶ丘2-46(阪奈道路、辻町1.C大阪方面すぐ) ☎ 0743-75-3987

セレミューズ 矢 田 山 (有) 公友社 大和郡山営業所 大和郡山市泉原町1-5 ☎ 0743-52-4444

通産大臣認可 セレモニー事業協同組合 まごころ葬儀

**(有) 公友社**

生駒市本町 6-1

TEL 0743-75-4444

# 平成二十三年度北地区防災訓練を実施して

北地区自治連合会副会長 福田 憲洋

平成二十三年十一月二十日(日)十三時から十五時に、生駒北中学校運動場で防災訓練を実施しました。天候は小雨、百八十三名の方が参加されました。

平成二十三年は三月十一日に発生した「東日本大震災」と、それに伴う「福島第一原発放射能漏れ事故」にはじまった「災害」の年でした。この大震災を受け、北地区自治連合会では、当初年度計画になかった北地区内初の「防災訓練」を行い、突然襲ってくる自然災害に対応するには、まず住民自身が「防災意識」を持つことが必要と考え、十一月に実施することとなったものです。

「住民自身が主体となって行動し、実用的な応急復旧・災害救助の技術を体得習熟できる訓練を実施することで、自主防災会や自治会



自発的に実施した防災訓練

を中心とした地域住民の連携を深める。」  
「迅速かつ適切な災害対策活動が行えるよう、災害時に即応できる体制を確立するとともに広く市民への防災に関する理解と協力を深める。」  
反省点は、訓練は実施計画立案が夏頃になったため、自衛隊他教育委員会等との調整が難しく、当初予定していた訓練内容から大きく縮小を余儀なくされました。  
今後は、「総合防災訓練」も視野に入れた早期年度計画を立案し、関係諸機関の全面協力を得られる防災訓練とする必要性を感じた訓練でした。

# 土砂災害防災訓練に百六十七名が参加

緑ヶ丘自主防災会会長 上埜 作治

昨年十一月二十七日に実施した訓練は、「連日の大雨により、緑ヶ丘・西菜畑地区において、ガケ崩れ、土砂災害の発生恐れあり」との想定で行いました。具体的には緑ヶ丘中学校《体育館内》に設置された生駒市・奈良県の災害対策本部から、両地区の自治会長を通じ、地区住民に対し避難勧告の発令を行う情報伝達訓練と、それを受けて第一次避難場所に避難していた

広範囲にわたる災害の際には、生駒市・奈良県による迅速な援助《公助》は、受けることが出来ないもので、日頃から、一人ひとりが防災意識を高め、持つことにより、家族との助け合い《自助》と、近隣同士の助け合い《共助》について、真剣に考え、備えることは不可欠です。  
自分たちの地域のこととは、自助、共助で守らなければなりません。

避難してきた自治会員は、奈良県砂防課より土砂災害に備えての『警戒避難計画』についての説明を受け、実地訓練は終了した。  
引き続き、参加者は非常食のアルファ米と緑ヶ丘自主防災会の給食・給水班が炊き出し行ったブタ汁を試食し、すべての訓練は終了した。



第一次避難所から緑中へ



避難誘導訓練

## 出張！お仏壇クリーニング

仏壇・仏具・仏像・位牌をお安くキレイに！

仏壇 仏具 **美光堂** (びこうどう)

ご予算・ご希望に応じた洗浄・修復方法をご提案！

生駒市小平尾町852-A6 <http://bikoudou.fine7.info/>

**0120-403-796**

## 和洋庭園設計施工・外構工事

# 城山造園

## 城山英章

〒630-0264 奈良県生駒市西菜畑町 1763

TEL 0743-74-2527

# R168の花と緑を育てる会の取り組み

辻町第一東自治会会長 田口 利彦

国道168号線の近鉄東生駒駅から北へ、阪奈道路までの区間が、新しい試みとして電線の地下埋設が行われ、電柱が無くなりすっきりとした状態となったが、管理者の県の方針として植樹は一切しないということ聞き、余りにも殺風景ではないかということ、隣接する四自治会が「R168の花と緑を考える会」を立ち上げ協議に入ったのが平成十八年十二月です。

その後、定期的に検討を重ね、「高木、低木、花壇の樹種、歩道の歩行人の安全、管理面等」をまとめて、県へ提案書を提出し協議に入った。県、市と地元関係者との協議の結果が、高木の植樹は、地下に埋設した電線に与える影響等で不可とされる。

よって、その代替案として彫刻を設置してはどうかとあった案も出たが、結果として現在の列柱を設置することに落ち着いた。いろいろな見方もあるのだが、予算の範囲内でデザイン化も考えに入れ、先端部のカット面を一方向で



四自治会が力を合わせて育てる花壇

は、色調も考え今の形に落ち着いた。歩行者を車から守ることも考えに入れて設置したものであるが、既に何本か車が突っ込んで折られたりしており、効果はあったと考えられる。平成二十年からは、「R168の花と緑を育てる会」に改称、花壇の花は、年二回植え替えることにし、四自治会が区域を分担して除草、水やり等の世話をすることにして今日に至っている。

今後、市の助成を受けながら、自分達の住む町は、自分達で美しく住み良い環境を保持していく等、各自が関心を持ち協力してくださることを切に希望する次第です。

# 会社人間から地域社会へ

南喜里が丘自治会会長 花田 勝彦

くじ引き自治会長として就任し、役所関係の報告の多さと行事の多さとまどいながら、何とか活動を軌道に乗せたとき、同じ班の三世帯から退会の申し出がありました。

退会事由をいろいろと聞くうちに、自治会が潜在的に抱えている問題が、いっぱいあることを認識しました。

この一年間の任期中にやることは、新しい活動を単純に増やすことではなく、「今後の活動の方針を見つめ直すこと」が重要であると考える、その手段としてアンケートの実施に踏み切りました。

過去にあまり実施されていなかった故か反響は大きく、八割の世帯の回答を得ました。アンケートの結果を集約すると、

- (1) くじ引きに頼らない会長、役員を選び方、業務分担
- (2) 「高齢化」と「共稼ぎ若年層」の二極化の中での自治会活動のあり方

に関する問題提起が多くなされました。それらに答えるべく、現



歩こう会の後、盛り上がったビンゴゲーム大会

在、具体的な「改革案」に取り組んでいます。特に、会長を中心とする役員陣の構成、運営方法は極めて重要で、単なるボランティアの域を超えていると感じています。これまでは、会社中心の生活で、地域のことには、まったく無関心であった私ですが、地域に帰り、地域のために、知恵を出しながら、何とか変えていく決意です。

ここ一年新しい活動はできませんでしたが、「次への布石」の役割はしっかりと果たしていきたいと思っています。

特定特殊自動車排出ガス基準 (オフロード用) 適合車種  
KOMATSU PC-200-8 Hybrid

ISO14001 環境マネジメントシステム 認証取得

環境に配慮する機械土木の専門企業

上武建設株式会社  
KAMITAKE

本社：奈良県生駒市北大和4丁目21番地の2  
TEL 0743-78-7191 / FAX 0743-79-1321  
大阪支店：大阪府四条畷市さつきヶ丘19番6号  
TEL 0743-71-0885 / FAX 0743-71-0885

人と自然に優しい資源環境を

資源総合リサイクルセンター  
製鋼原料・非鉄金属・ビン、カン選別処理・ペットボトル処理

関西メタルワーク株式会社

ISO14001 認証取得工場

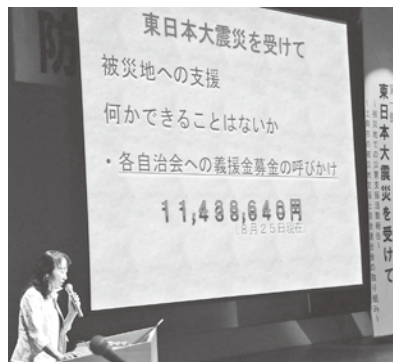
〒630-0226 奈良県生駒市小平尾町1491-1 TEL (0743) 77-6017-6045 FAX (0743) 77-6886  
URL http://www.kansaimetal.co.jp E-mail info@kansaimetal.co.jp

# 自治会役員研修会(防災市民セミナー)

平成二十三年度の自治会役員研修会を防災市民セミナーとして、昨年八月二十七日、中央公民館において生駒市と共催で開催しました。

今回の研修会は、第一部として、「東日本大震災を受けて」生駒市の被災地支援と自治連合会の取組み」の事例発表を、第二部として、防災システム研究所長の山村武彦氏を講師にお迎えし、「生駒市民の防災対策」についてご講演いただきました。

山村氏には、東日本大震災での実例を交えながらご講演いただき、約四百人が熱心に拝聴しました。



# 奈良県自治連合会自治功労者表彰

平成二十三年度奈良県自治連合会自治功労者表彰式が、昨年十月二十五日に奈良ホテルで開催されました。

この表彰式は、住民自治組織の役員

として、地域住民の福祉向上に貢献し、行政の円滑なる推進に協力され



た方々をたたえるものです。今回は、前東新町自治会の中本一郎会長と西旭ヶ丘自治会の西森義光会長が知事表彰を受けられました。

## 日誌

九月	六日	第三回常任理事会 中地区自治連合会 視察研修
	一六日	第四回テーマ別部会 (防災)
	二六日	南地区自治連合会 市政研修会
	二七日	東地区自治連合会 市政研修会
	三〇日	東地区自治連合会 市政研修会
一〇月	四日	第六回正副会長会議 西地区自治連合会
	六日	視察研修 北地区自治連合会
	一九日	市政研修会 南地区自治連合会
	二二日	視察研修 東地区地域実働防災訓練・避難所宿泊体験訓練 奈良県自治連合会
	二五日	自治功労者表彰式 中地区自治連合会
	二六日	市政研修会
十二月	九日	第四回常任理事会 西地区自治連合会 市政研修会
	二二日	東地区自治連合会 視察研修
	二三日	北地区自治連合会 視察研修
	二四日	奈良県自治連合会 視察研修
	二七日	北地区地域実働防災訓練
十一月	二〇日	第七回正副会長会議 奈良県自治連合会研修会
	二二日	第五回テーマ別部会 (防災)
	二七日	第四回編集委員会
一月	二五日	第五回常任理事会
	二三日	第二回理事会
	二六日	第五回編集委員会
	二八日	第六回テーマ別部会 (防災)
	二五日	第二回全体集会
二月	六日	第八回正副会長会議 第六回編集委員会
	九日	第七回テーマ別部会 (防災)

## 編集後記

千年に一度のあの忌まわしい出来事からもうすぐ一年になるうとしております。この様な大災害に遭遇した時、どの様に行動したら良いのか、昨年各各地区で防災訓練が実施されました。しかしながらそれはあくまでも訓練であり、実際に起こった場合、はたしてどう対応出来るのか、一抹の不安も感じ得ません。

そんな時注目されたのが「絆」という言葉でした。家族との絆、仲間との絆、地域との絆など色々絆はありますが、いざという時一番頼りになり、また、且つ確かなものであるのが、この「絆」であることを痛感させられました。自治会活動もこの絆の強化に繋がる活動を念頭に置き、推進していきたいものです。

### 編集委員長

上埜 作治  
相田 浄司  
大野 孝夫  
奥森 茂  
城山 英章  
森岡 文夫

徹底した衛生管理で「美味」をお届けします。

すし・弁当・幕の内・仕出し料理専門店

A<sub>E</sub>-C<sub>S</sub>-E<sub>S</sub> \*受付時間\*  
午前9時~午後7時45分  
あづまケータリングサービス 年中無休 株式会社 東野

東生駒店 ●近鉄東生駒駅北へ500m

☎0743-75-3033 (代)

生駒市辻町53番地北畑ビル1F

幼児の健康と  
情操を大切に  
育てる……。

学校法人エンゼル学園

# エンゼル 幼稚園

生駒市南田原町789-5

●お申込み・お問い合わせ ☎78-0386 (送迎バス有り)